

機関番号：32646

研究種目：基礎研究(C)

研究期間：2008～2010

課題番号：20520133

研究課題名(和文) 第一高等学校寮歌の研究—寮歌にみる音楽文化活動の西洋化の過程—

研究課題名(英文) The study of the dormitory-songs and the musical activities
at the First High School focusing the process of the westernization.

研究代表者 下道郁子 (SHITAMICHI IKUKO)

研究者番号：50421110

研究成果の概要(和文)：旧制第一高等学校の寮歌の研究を通して、戦前の日本人の音楽的感性が変化し、洋楽スタイルを指向したこと、また西洋音楽の受容と理論の学習が、これらの変化を進める要因となったことが考察された。そして教養教育による人間教育という教育理念の旧制高等学校においては、学友会や運動部による対抗試合等の課外活動が活発であり、この活動が寮歌という、音楽的にも社会的にも価値ある文化遺産を生み出したことが理解された。

研究成果の概要(英文)：The study of the dormitory-songs (Ryo-ka) of the First High School under the old Japanese school system reveals the process in which Japanese tastes for music were changed from traditional Japanese music to the western music before the Second World War. It is also examined that the student's acceptance of the western music and the study of western music theory promoted this change. It is also understood that in the old-system high school, whose educational aim was to cultivate humanity based on liberal arts, the extracurricular activities such as sports and music played an important role. In conclusion, the extracurricular activities produced the dormitory songs that were the cultural heritage of music and society.

交付決定額

(金額単位：円)

| | 直接経費 | 間接経費 | 合計 |
|--------|-----------|---------|-----------|
| 平成20年度 | 500,000 | 150,000 | 650,000 |
| 平成21年度 | 500,000 | 150,000 | 650,000 |
| 平成22年度 | 400,000 | 120,000 | 520,000 |
| 年度 | | | |
| 年度 | | | |
| 総計 | 1,400,000 | 420,000 | 1,820,000 |

研究分野：音楽教育

科研費の分科・細目：芸術学・芸術史・芸術一般

キーワード：音楽文化史 教育史 芸術諸学 西洋音楽受容史

1. 研究開始当初の背景

(1) 本研究の研究代表者は音楽大学で教鞭をとっているが、音楽大学が高度に専門化された職業訓練の場となった一方で、一般大学では教養教育軽視のため、欧米の大学教育と比較すると音楽関連科目の開講は皆無に等しい。このような現状を問題視し、この問題を明らかにするために欧米の

高等・専門教育における音楽教育の歴史について研究を行っていた。この研究により、アメリカの大学の音楽教育において実技と学問の両方が重視されている背景として、古代ギリシャから人間形成の為の教養としての音楽教育思想と、チャペルの聖歌隊や市民文化に貢献するために開かれたオーケストラの定期演奏会といった、実技系の

課外活動が基盤となっていることが明らかとなった。この研究結果を受けて、日本に視点を移し、教養教育による人間教育を重んじていたと言われる旧制高校において、どのように音楽が扱われてきたのかを研究しようと考えた。

(2) 旧制高校は戦後の教育改革により、昭和 25 年には全て閉校となった。このため最期の卒業生も 80 近い高齢となり、生き証人がなくなる日も遠くはない。また旧制高校としては最も歴史が古く寮歌数も抜群に多い第一高等学校では、同窓会の終焉の日を予測して大規模な資料収集と整理が行われ出版された。寮歌を歌っていた世代がいなくなる前に、寮歌の有り様やその意義を研究することは重要と感じていた。

2. 研究の目的

本研究の目的は第一高等学校を代表例として旧制高校の教養教育が学生の文化活動に与えた影響及び教養教育を基盤として生まれた当時の学生文化を、寮歌の活動を軸に考察するものである。そして寮歌を生み出した文化的背景や、寮歌の音楽的特徴を明らかにすることにより、明治から昭和前期までの日本の音楽文化の洋式化の過程を解明し、さらに高等教育の文化活動が日本文化全般へ及ぼした影響を明らかにすることである。

(1) 寮歌の作曲者、作詞者、旋法や調性、リズムや拍子、形式、音域、数字譜と五線譜の関係等から音楽的特徴を明らかにする。

(2) 寮歌を作曲する等旧制高校の音楽活動の中心的役割を担った学生の経歴や活動を調べ、当時の音楽教養人や音楽愛好家の姿を明らかにする。

(3) 大衆歌謡、軍歌、唱歌と、寮歌との関連を明らかにする。

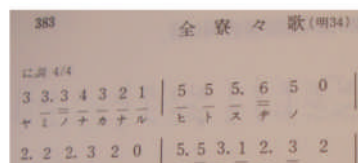
(4) 上記 1～3 の分析から明治、大正、昭和にかけて、日本人の音楽観や感性が洋式化されていく過程を、明らかにする。

(5) 第一高等学校の教育理念や内容と、寮歌及び音楽文化活動の関わりを考察する。

3. 研究の方法

(1) 文献研究、資料収集とその分析

①『第一高等学校寮歌』(音源)、本『第一高等学校寄宿寮寮歌解説』『寮歌集』に掲載されている第一高等学校寮歌の明治、大正、昭和の音楽分析と歌詞の内容分析。



参考：明治期の数字譜による『全寮寮歌』

②『自治寮六十年史』、『第一高等学校六十年史』、『向陵誌』、『校友会雑誌』を資料とし、学校史、学生生活、校友会活動の考察。

③関連校の資料の分析。例えば第三高等学校同窓会自昭会発刊の『神陵史』や『会報』等。

(2) 寮歌祭の取材、卒業生や関係者へのインタビュー。

- ①一高玉杯会主催の春と秋の寮歌祭
- ②一高同窓会・詠帰会の集会
- ③卒業生宅の訪問

(3) 資料保存機関の取材と資料収集

- ①松本旧制高校記念館
- ②京大大学文書館
- ③三高記念館設置準備室
- ④国立臺灣大学校史館
- ⑤霞城館(たつの市)等

(4) 旧制高校にゆかりある場所の取材

- ①鎌倉東慶寺(向陵塚例祀)
- ②国立臺灣師範大学(旧制台北高校)
- ③吉田神社(京都)等

4. 研究成果

(1) 第一高等学校-結果

①音構造、リズム、形式、調性等の音楽要素に、西洋音楽様式化への過程が明らかに考察された。具体的には、全音音階への指向、3拍子の登場と増加、数字譜から五線譜への記譜法の変化、二部、三部形式への指向等である。

②校友会音楽部の活動が、日本の西洋音楽受容に大きな役割を担っている。

③寮歌及び校友会の音楽部の活動が、西洋様式へと変容したことは、唱歌教育の影響を少なからず受けていると考えられる。

④部活を通じた旧制高校の交流が寮歌を全国的に広める要因になった。

⑤戦時下の寮歌には、詩の韻律や音楽において、明治・大正時代とは異なる特徴が見られた。

⑥教養教育と全寮制による人間教育が、寮歌を中心とした自発的な音楽活動を盛んにした。

(2) 教養教育と専門教育に見られる日中の音楽文化交流という視点

①一高の寮歌活動の基礎を築いた鈴木米次郎の日中の音楽教育交流の活動を調べた。

②蕭友梅に代表される、東京帝国大学と東京音楽学校で、教養教育と音楽専門教育を受けた中国留学生について調べた。彼らの活動を通して 20 世紀初頭の中国における西洋音楽の受容や、高等教育における音楽教育がどのような理念の基に始められたのかが理解された。

(3) その他

外地の旧制高校の例として台北高等学校を対象とし、校友会の音楽活動を文献資料から調査した。一高と比較しても劣らない、活発な西洋音楽の受容と普及の活動が行われていたこと、台湾の民族性を取り入れた音楽活動が行われていたことが理解された。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 7 件)

① Ikuko Shitamichi "Music activities at the Taihoku High school and at the Taihoku Imperial University between 1925-1942 in Taiwan", *APSMER 2009 8th Asia-Pacific symposium on Music Education Research ISME Asia-Pacific regional Conference 2011*, pp. 未定、査読有り

② 下道郁子、"嗚呼玉杯、前編" 「七大学をめぐる歌」、*社団法人学会刊『U7』*, vol. 37, April 2011, pp. 52-5、査読無し

③ 下道郁子、"嗚呼玉杯、後編" 「七大学をめぐる歌」、*社団法人学会刊『U7』* vol. 38, June 2011, pp. 58-63、査読無し

④ 下道郁子「大正時代の第一高等学校の寮歌の研究-旧制高校の教育と音楽的側面からの検討-」、*東京音楽大学研究紀要*、第 33 集、2009、pp. 23-41、査読無し

<http://ci.nii.ac.jp/search?q=下道郁子&range=0&count=20&sortorder=1&type=0>

⑤ Ikuko Shitamichi "The Comparison of Western Musical Development between China and Japan from 1890s to 1930s-focusing on the School Activities at Some Institute" *APSMER 2009 7th Asia-Pacific symposium on Music Education Research ISME Asia-Pacific regional Conference, 2009*, pp. 422-435、査読有り

⑥ 下道郁子、「明治20年代～40年代の旧制高等学校の音楽教育-特に第一高等学校の音楽活動を中心に-」、*『音楽教育史研究』*、11号、2009、pp. 39-51、査読有り

⑦ 下道郁子、「明治時代の第一高等学校寮歌にみる音楽文化活動、東京音楽大学研究紀要、第 31 集、2007、pp. 33-52、査読無し
<http://ci.nii.ac.jp/search?q=下道郁子&range=0&count=20&sortorder=1&type=0>

[学会発表] (計 6 件)

① Ikuko Shitamichi "Music activities at the Taihoku High school and at the Taihoku Imperial University between 1925-1942 in Taiwan", *APSMER 2011 8th Asia-Pacific symposium on Music Education Research ISME Asia-Pacific regional Conference 2011*, Taipei, 2011年7月, Taipei Municipal University of Education

② Ikuko Shitamichi "Chinese students and their musical study in Japan between 1896-1920", 30th world conference of international society for music education, Beijing, 2010年8月, The China National Convention Center

③ 下道郁子、「大正時代の第一高等学校の寮歌と音楽活動」、2010年度音楽教育史学会、2010年5月、立教大学

④ Ikuko Shitamichi "The Comparison of Western Musical Development between China and Japan from 1890s to 1930s-focusing on the School Activities at Some Institutes", *APSMER 2009 7th Asia-Pacific symposium on Music Education Research ISME Asia-Pacific regional Conference 2009* Shanghai, 2009年6月, Shanghai Music Conservatory

⑤ Ikuko Shitamichi

“The study of the dormitory songs in Japan-Musical activities at daiichi- high school in the Meiji Era”
28th world conference of international society for music education Bologna, 2008
年7月21日, Bologna University

⑥下道郁子 「旧制高校の教育と音楽—明治時代を中心に」2008年度音楽教育史学会 2008年5月、立教大学

〔図書〕(計1件)

下道郁子(佐野靖・杉本和寛編)、東洋館出版社、『文化としての日本のうた』、第5章「日本の歌と社会とのかかわり」(1)寮歌について、2011刊行予定、200頁担当ページ未定

6. 研究組織

(1) 研究代表者

下道 郁子 (SHITAMICHI IKUKO)

東京音楽大学 音楽学部音楽科・准教授

研究者番号：50421000

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：